



やっば!

まかしたった ○○○○

「やってよ〜」とお願ひしたら ニッコリ。神対赤中川ひさ子さん(戌どい)が軽快なリズムで手返しを見せてくれた。これが餅つきだ。
「ハタチで嫁に来て 姑さんに叱られながらやったのよ」
餅はキナコもアンコもわかったので、すぐ「むぎのこさん」に届けた。

(四日市ホムニュース 2月24日号)

読者からの投稿

「采女が丘餅つき大会」

采女が丘コミュニティセンターで、自治会主催の『采女が丘餅つき大会』が開催されました。

自治会で行う餅つき大会は初めての試みで、『うつへ農園』さんの全面的な指導・協力を得て、行つてきました。

参加者は、老若男女約150人で、ワイワイガヤガヤ、もち米を蒸し、熱湯で温めた石臼に移し、きねでこねてつき、そしてつき終わった餅を小さく切り、丸めて粒あんやきな粉でまぶし、写真試食しました。
参加者より次の感想がありました。
「20年以上前の手返しの経験が、よみがえりました。若返った」

2/10(土) 8:00~11:00

坂上 河辺 阿部 川村
小磯 片桐 鈴木 五家
石田 芦田

老いも若きも大活躍。子供たちも餅つきを見ながら頬ばっている。笑顔がはじけて、初めての企画は大成功だったので。

杵柄 キネツカ
餅のためにあるような熟語
若い嫁を希た姑は多分
楽しんでたろう

そだね〜



「きねを下した時の餅の感触が、グシヤと気持ちよかった」
「お父さんと餅がつけて楽しかった」
「臼の中できねと手返しの手のタイミングが取りづらいように思えたが、実際にやってみると、」
(采女が丘 鈴木直次さん)

て、掛け声と呼吸が自然に合い、安心して打つことができた」
「はじめはおしさんに助けてもらったが、一人でつき、手返しができるようになりました」
「お代わり自由でたくさん餅を食べた。出来たの餅はおいしかったです」



3月

10日(土)
9:00~11:00
交番隣りの花畑の手入れ
草とり、施肥
(雨のときは翌11日)

24日(土)
9:00~11:00
グラウンドの花壇の手入れ
カンナを移植する。
(雨のときは25日に順延)

2/24(土) 9:00~11:00

河辺 坂上 鈴木 小磯 阿部 五家 川村 片桐 石田 芦田 協力 むぎのこさん
グラウンドに市が土砂を入れてくれたので凹地に板けた。坂上さんの耕うん機が大活躍。半分の時間でできた。片桐さん手製のトンボも役立った。花壇の草抜き、木の幹の椅子配置。

5号公園に ドングリの木を植樹してくれたのは四日市農芸高校の自然環境コースの生徒さんたち。いつのまにか看板を忘れてくださった。(12月か?)
雑草を刈るとき、植樹した木を切ってしまうことがあるからだ。
写真は見辛いが、左右に看板がある。実物を見てください。

